

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書

北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に資するとともに、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすなど、国土強靱化を図るうえで極めて重要な国家プロジェクトである。

また、北陸圏が首都圏や関西圏と直接繋がることにより、交流人口、移住・定住人口の増加や産業・観光の振興による経済の活性化など、地域の飛躍的発展にも大きく寄与するものと期待される。

昨年3月に金沢・敦賀間が開業し、福井県内の沿線地域ではその効果が続いているが、北陸新幹線の整備効果を最大限発揮させるためには、一日も早い全線開業が必要不可欠である。

沿線の自治体、関係団体および住民には、ルート決定に至った経緯と必要性を十分に理解いただき、諸課題を解決した上で経済的にも文化的にも繋がりが深い北陸・京都・大阪を早期に小浜・京都ルートで繋ぐことが重要である。

これらのことを踏まえ、次の事項について強く要望する。

- 1 沿線自治体や地域住民等に丁寧な説明を行い、理解促進に努めるとともに敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速に進め、令和7年末までに詳細な駅位置・ルートを決定・公表するとともに早期の認可・着工を実現すること。
- 1 貸付料の算定期間延長や国土強靱化に資する部分を全額国費で負担するなど、財源の議論を加速させ、着工5条件の早期解決を図り、一日も早い全線開業を実現すること。
- 1 JR小浜線は特急が運行されておらず、また、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを明確にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年11月6日

福井県高浜町議会

内閣総理大臣	高市	早苗	殿
財務大臣	片山	さつき	殿
国土交通大臣	金子	恭之	殿
内閣官房長官	木原	稔	殿
衆議院議長	額賀	福志郎	殿
参議院議長	関口	昌一	殿